

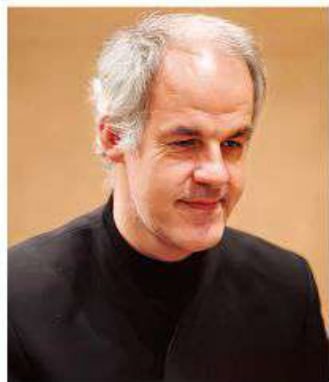


加勢百合子

【ヴァイオリン】

Yuriko KASE

フランス生まれ。3歳半よりヴァイオリンを習い始める。帰国後、桐朋学園大学付属「子供のための音楽教室」を経て、95年桐朋女子高等学校音楽科入学。97年国際芸術連盟新人オーディションにて奨励賞受賞、新人推薦コンサート出演。98年桐朋女子高等学校音楽科卒業、卒業演奏会出演。同年、パリ国立高等音楽院(CNSMDP)に合格。2002年に同音楽院にて最優秀賞及び高等ディプロマ(DFS)を得て卒業。日本では主に日暮里サニーホール、バルテノン多摩、八王子市主催「郷土の響きシリーズ」で、いちょうホールにてリサイタルを行い、フランスでは「ネスプレッソ」フランス、インターネットプロバイダー「Free」、フランス国鉄「SNCF」等の、様々なテレビCMや映画のBGM録音を行い好評を得る。2003年からラミー弦楽四重奏団の第一ヴァイオリン奏者としてヨーロッパ各地で演奏活動を行う。2006年からは、レ・シエクル管弦楽団のメンバーとして、主に東京国際フォーラムにて「熱狂の日」や、フランス国营チャンネルの音楽番組「プレスト」に出演。2006年には国際弦楽フェスティバル「Les cordes en ballade」に招待され、フランスのラジオ番組「フランス・ミュージック」にてライブ放送を行い好評を得る。2007年には、amfあじがさわミュージックフェスティバル(現八戸イカール国際音楽祭)に室内楽の講師として招待され、上田晴子、ドミトリー・フェイゲンなどと共演。2008年には八王子音楽祭にて三浦文彰、沢木良子、アラン・ムニエなどと共演。2012年には、セバスチャン・ジャコミ、工藤祐意セシリアと共に、大阪国立民族学博物館にてヨーロッパ音楽の研究公演を行う。2015年から2019年にはパリ管弦楽団の定期演奏会に出演。2020年からは毎年フレーヌ芸術祭 Opus 74 に招待され、ドニ・ジャネ、カルロス・アコト、ミシェル・ルヌル、吉田ネフ玲子などと共演。現在パリのフルール・ド・リス国際音楽アカデミーおよびオーダス・シンフォニーオーケストラを経営。これまでヴァイオリンを安田真理、ジャクリヌ・コモンジュ、鈴木共子、朱貴珠、オリヴィエ・シャルリエ、ヨアンナ・マトコフスカ、ローラン・ドガレイユ、室内楽をジャン＝ノエル・クロック、フレデリック・シュートル、イザイ弦楽四重奏団、ドビュッシー弦楽四重奏団、アマティー弦楽四重奏団の各氏に師事。



ベルトラン・ジロー

【ピアノ】

Bertrand GIRAUD

パリ国立高等音楽院およびジュネーヴ高等音楽院にて、ピアノをドミニク・メルレに師事し、最優秀賞を得て卒業。アンドラーシュ・シフ、クロード・ヘルフェール、セルジオ・ペルティカローリ、ヴァディム・レービンらのマスタークラスを受講し、特にコレット・ゼラ、ブルーノ・カニーノ、アキレス・デレーヴィーニエとの出会いがその後の音楽キャリアに大きな影響を与える。イタリアのミロシ・マギンピアノ国際コンクールで優勝、アメリカのテキサス・ショパンコンクール第2位など、国内外のさまざまなコンクールで入賞。ソリストとして、これまでウィーンのユーロ・シンフォニエッタ、ウッチフィルハーモニー管弦楽団、ルブリンフィルハーモニー管弦楽団、北チェコ・フィルハーモニー・テプリツェ、ソドレ交響楽団、ロサリオ州交響楽団などと共演。また室内楽ピアニストとして、ピエール・アモイヤル、アンリ・ドマルケット、ブルーノ・パスキエ、ブノワ・フロマンジュ、アミ・フラメル、瀬尾和紀、島田彩乃、橘高昌男、エネスコ弦楽四重奏団、フランス八重奏団などと共演。ソロと室内楽のCDを、Erol Maguelone、Anima Recordsの3つの音楽レーベルから25枚リリースする。タイではテレビ生中継コンサートに出演し、タイ王妃から賛辞を受ける。コンクールの審査員としてシドニー国際ピアノコンクール、マルサラ国際ピアノコンクール、ポルトー国際ピアノコンクール、パルマ・ドーロ国際ピアノコンクール、スクリャーピン国際ピアノコンクール(イタリアと中国)、AEMC国際室内楽コンクールなどに招待され、レバノン高等音楽院、モスクワのグネーシン音楽大学、ソウルの延世大学などでマスタークラスを開催。2017年にフランス国家資格PEA取得し、現在はランシー地方音楽院にて教鞭を執りながら、Opus Artis 国際コンクール(旧ジャン・フランセ国際音楽コンクール)、Young Opus コンクール、ミュージック・コンペティション・オンライン、コロンブ国際音楽アカデミー、フレーヌ芸術祭 Opus 74 のディレクターおよび、音楽レーベル「Anima Records」のプロデューサーを務めている。

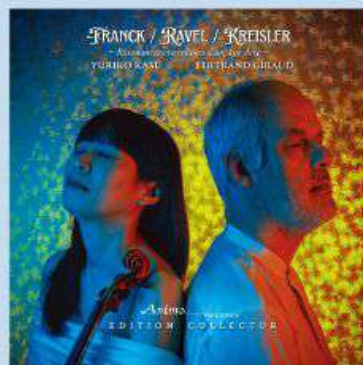
「フランク / ラヴェル / クライスラー ～黄金期とのきらめく共鳴～」

アナログ盤レコードをコンサート会場にて限定販売!

本作は19世紀末から20世紀初頭にかけてパリを中心に芸術と文化が飛躍的に発展した「ベル・エポック(美しき時代)」に作曲された作品へのオマージュとして制作されました。

近年ふたたび脚光を浴びているアナログレコード。その豊潤な音質にこだわり、インテリアとしても空間に趣を添える、フランス製の上質なアートピースとして仕上げられた珠玉のアルバムです。

【収録曲】 クライスラー：ジプシーの女 / クライスラー：美しきロスマリン
フランク：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ / ラヴェル：ツィガヌ



【価格】5,500円(税込)

会場 **ルーテル市ヶ谷ホール** 〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1

- ・JR総武線 市ヶ谷駅地上出口 徒歩7分
- ・東京メトロ 有楽町線 市ヶ谷駅5・6番出口 徒歩2分
- ・都営地下鉄新宿線 市ヶ谷駅A1出口 徒歩7分
- ・東京メトロ 南北線 市ヶ谷駅5・6番出口 徒歩2分

YouTube

加勢百合子

バイオリンチャンネル

